

佐賀建設新聞

発行所

株式会社 建設新聞社

〒849-0301

小城市牛津町乙柳1145-7

Tel 0952-66-5750 (代)

FAX 0952-66-5751

購読料 月額5,775円(税込)

毎週火・木・土曜日発行

社団法人日本専門新聞協会会員

ホームページ

<http://www.kensetsunews.co.jp>

e-mailアドレス

kssaga@lime.ocn.ne.jp

HTBで植物の祭典開催

日本建設技術㈱も出展

国際ポタニカルガーデンフェア

長崎県佐世保市のハウステンボスで、10月9日～13日まで『国際ポタニカルガーデンフェア』が開催され、爽やかな秋晴れと3連休が重なり、約4万人の来場者で賑わった。

フェアには農産物や環境、健康などの各分野から58団体の企業などが参加し、ブースを出展。さまざまなPR活動を行った。

ハウステンボスが掲げるポタニカルリゾート構想は、世界に認められる自然との共生を創造。地球上の生命全ての根幹を成す「植物」に注目し、事業の基礎として展開するもの。

今回のフェアでは、同社の構想に賛同した企業が続々参画。ブース展示

などを通じてポタニカルライフの在り方を提案している。今月4日には構想に向けた取り組みの一端として、新アートガーデンがオープン。2万6000平方メートルの敷地に、ダリアやバラなど870品種20万株の花々が植栽され、来場者への癒しの空間を演出していた。

本県からは、日本建設技術㈱(本社・唐津市)もブースを設置(写真)。ガラス廃材を再資源化した新素材「ミラクルソル」のPR活動に余念がなかった。

また、アレキサンダー広場では「ポタニカルライフはじめよう」をテーマにガーデンコンテストも開催。造園会社や学校

など8団体がアイデアや工夫を凝らした庭園を製作し、来場者に披露されている。どの作品も、植栽する品種に配慮され、ビオトープやベンチなどを効果的に配しながら芸術的なアイデアを形にし、ほのぼのとする庭を造っていた。コンテストの結果は13日に発表され、最優秀作であるグランプリには西日本短期大緑地環境学科が製作した『私の収穫祭』が栄冠を手にした。

フェアでは、ほかにも専門家によるセミナーや、場内各所に配置された華やかな植栽が来場者の関心を集めるなど大勢の家族連れなどが「ポタニカル」を体感していた。

